

火災通報装置

の停電時の対応について

- 西日本防災システム

停電時

火災通報装置には、**非常用のバッテリー**が搭載されています。

バッテリー容量は 停電**1時間**経過後**10分**以上通報可能な容量以上となっています。

メーカーなどにより容量の差はありますが、大きいものでは 停電5時間待機後 10分間通報可能なものもあり 自動火災報知設備のように監視電流の必要性がありませんので、比較的小さな容量で対応できます。

バッテリーの設置環境や、劣化状況により使用可能な時間は変化します。

計画停電などの長時間の停電が予定されている場合は、通報装置以外の通報方法もマニュアル化してください

警報など

機種によりバッテリー容量低下の警報を送出する機種があります。

復電後

復電後は、バッテリーに充電を開始します。

完全放電後に、充電不良となるバッテリーがあります。御注意ください。

